

令和3年度第3回さいたま市地域医療構想調整会議 次第

令和4年1月17日(月)
19時30分～

1 開 会

2 議 題

- (1) 第6次地域保健医療計画に基づく病院整備計画の計画変更について
(仮称)順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター)

【埼玉県保健医療政策課】資料

- (2) その他

3 閉 会

《資料》

次第

委員名簿

さいたま市地域医療構想調整会議設置要綱

資料1 今回の地域医療構想調整会議でご議論いただきたいこと

資料2 これまでの経緯

資料3 医療機能別病床数の年度別推移について

資料4 療養病床及び一般病床の基準病床数・既存病床数

資料5 さいたま圏域に係る基本データ

資料6 病院の整備計画変更申請書

座長提出資料 病院の整備計画変更申請書に係る質問について

さいたま市地域医療構想調整会議委員名簿

(任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日)

	所 属	職 名	氏 名
委 員	1 一般社団法人浦和医師会	会長	登坂 英明
	2 一般社団法人大宮医師会	会長	松本 雅彦
	3 一般社団法人さいたま市与野医師会	会長	森 泰二郎
	4 一般社団法人岩槻医師会	会長	林 承弘
	5 さいたま赤十字病院	院長	安藤 昭彦
	6 自治医科大学附属さいたま医療センター	センター長	遠藤 俊輔
	7 さいたま市民医療センター	院長	百村 伸一
	8 医療法人社団協友会彩の国東大宮メディカルセンター	院長	藤岡 丞
	9 地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	院長	黒田 豊
	10 地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	院長	吉田 武史
	11 医療法人聖仁会西部総合病院	理事長	西村 直久
	12 医療法人慈正会丸山記念総合病院	理事	丸山 泰幸
	13 医療法人三慶会指扇病院	理事長	鈴木 慶太
	14 さいたま市立病院	院長	堀之内 宏久
オブザーバー	学校法人順天堂	理事	天野 篤

さいたま市地域医療構想調整会議設置要綱

(設置)

第1条 埼玉県地域医療構想（以下「構想」という。）の達成を推進するために、さいたま保健医療圏（構想区域）における必要な事項について、さいたま地域保健医療協議会設置要綱第8条の規定に基づき、より専門的な協議を行うことを目的とする専門部会として、さいたま市地域医療構想調整会議（以下「調整会議」という。）を設置する。

(業務)

第2条 調整会議の所掌事項は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 構想の推進に係る協議に関すること
- (2) その他さいたま保健医療圏内の実情に応じ必要な事項

(組織)

第3条 調整会議の委員は、医療関係者及び市職員をもって構成する。

- 2 調整会議には議長を置くこととし、議長は委員の互選により定める。
- 3 議長は、調整会議を代表する。
- 4 委員に就任するときは、委員就任承諾書（様式第1号）をさいたま市長に提出するものとする。
- 5 委員が任期途中で辞するときは、委員辞任届（様式第2号）をさいたま市長に提出するものとする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 委員が欠けた場合は補欠委員を置くこととし、その者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 調整会議は、議長が招集し、主宰する。

- 2 委員が調整会議に出席できないときは、調整会議の了承を得て代理の者を出席させることができる。
- 3 議長は、必要に応じて委員以外の者に出席を求め、意見等を聴くことができる。
- 4 議長は、適宜、調整会議における議論等の内容を、さいたま地域保健医療協議会の会長に報告するものとする。

(事務局)

第6条 調整会議の事務局は、保健部において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、調整会議の運営等に関し必要な事項は、議長と事務局が協議して定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成29年4月3日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

【今回の地域医療構想調整会議でご議論いただきたいこと】

今年度、地域医療構想調整会議において圏域別フェイスシートを作成いただき、2025年及び2040年の推計データを基に、今後のさいたま医療圏での地域医療提供体制の課題等についてご議論いただいております。その中で、順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）の課題についても挙げていただいております。

今後、医療審議会において、順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）の整備計画の変更について審議することから、さいたま市地域医療構想調整会議においても下記の点を中心に、これまでの議論やその他のことも含め幅広くご議論いただきたい。

（主な論点）

- ・ 整備計画の変更点について
- ・ 整備予定の病床機能の必要性について
- ・ 従事する医療人材の雇用計画の妥当性について
- ・ 今回の整備計画に記載されている施設整備の妥当性について

（参考）

○ 整備計画の変更点について

1 整備スケジュール

「現在、作成中」を次のように変更

基本計画 (設計者選定含む)	～令和5年3月
基本設計	令和5年4月～令和6年6月
実施設計	令和6年7月～令和8年3月
建設工事	令和8年4月～令和10年12月
開院	令和11年4月（400床） 令和12年3月（800床：フルオープン）

2 医療従事者数

医師	300名	(250名)
看護師	800名	(900名)
その他コメディカル	366名	(160名)
事務	117名	(90名)
合計	1,583名	(1,400名)

()内は平成30年3月の変更計画時点の数値

○「地域医療構想の進め方について」(H30.2.7付 医政地発 0207 第1号)

1. 地域医療構想調整会議の進め方について

(1) 地域医療構想調整会議の協議事項

ウ. 新たな医療機関の開設や増床の許可申請への対応

(ア) 全ての医療機関に関すること

都道府県は、新たに病床を整備する予定の医療機関を把握した場合には、当該医療機関に対し、開設等の許可を待たずに、地域医療構想調整会議へ出席し、①新たに整備される病床の整備計画と将来の病床数の必要量との関係性、②新たに整備される病床が担う予定の病床の機能と当該構想区域の病床の機能区分ごとの将来の病床数の必要量との関係性、③当該医療機能を担う上での、雇用計画や設備整備計画の妥当性等について説明するよう求めること。なお、開設者を変更する医療機関(個人間の継承を含む)を把握した場合にも、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議へ出席し、当該構想区域において今後担う役割や機能について説明するよう求めること。

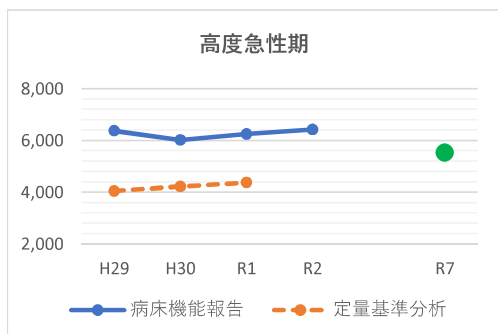
【これまでの経緯】

H26. 10. 20	病院整備計画の公募の告知(全ての二次保健医療圏対象) (応募条件) ①大学附属病院の整備 ②医学系大学院の併設 ③医師確保困難地域への医師派遣 ④H30.3 までの着工
H27. 3. 19	県医療審議会が学校法人順天堂からの病院整備計画の採用を了承 ※2者(市内1・市外1)から応募があった。
H27. 3. 27	知事が学校法人順天堂の病院整備計画の採用を正式決定
H29. 8. 30	平成29年度第1回さいたま市地域医療構想調整会議から順天堂大学がオブザーバー参加 順天堂大学の現状及び今後について(県から報告)
H30. 3. 28	県医療審議会が病院整備計画の変更を了承 着工時期、開院時期を限定せず。
H30. 12. 12	平成30年度第2回さいたま市地域医療構想調整会議 順天堂大学学長が病院プレゼンテーション
R3. 2. 8	県医療審議会が病院整備計画の進捗状況を受け、スケジュールを明確にするよう県に指示
R3. 2. 25	県が開院時期及び設計・建設のスケジュールを明記した病院整備計画の再提出を大学に依頼
R3. 12. 27	大学より開院時期などスケジュールが明記された病院整備計画が県に提出

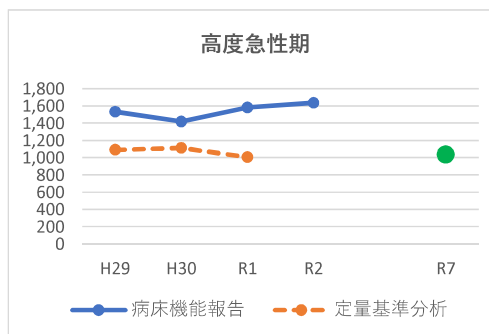
医療機能別病床数の年度別推移について

●は2025年の必要病床数

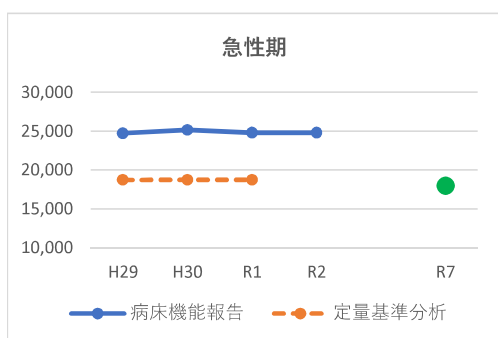
県全体



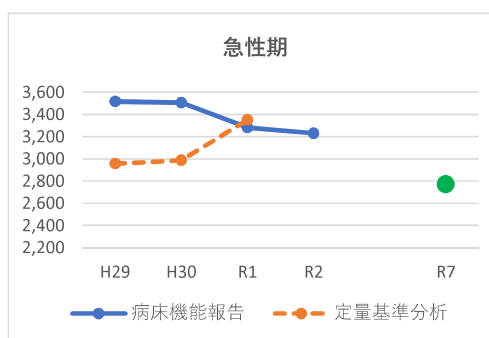
	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	6,365	6,012	6,238	6,423	5,528
定量基準分析	4,044	4,223	4,368	-	-



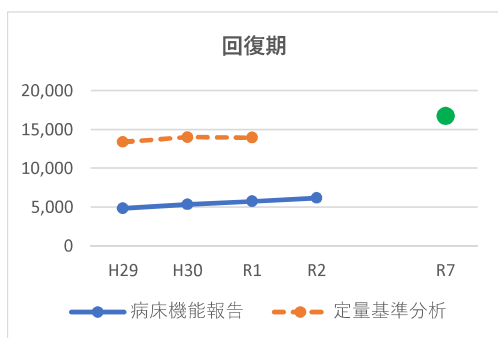
	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	1,532	1,418	1,582	1,635	1,039
定量基準分析	1,090	1,113	1,005	-	-



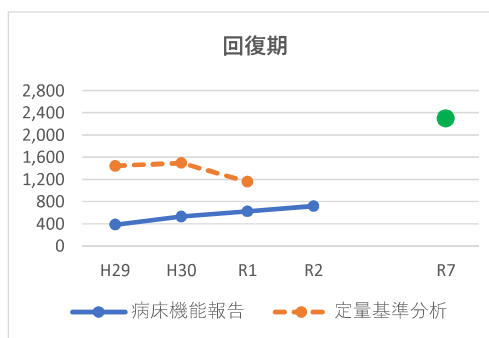
	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	24,702	25,126	24,763	24,764	17,954
定量基準分析	18,678	18,704	18,694	-	-



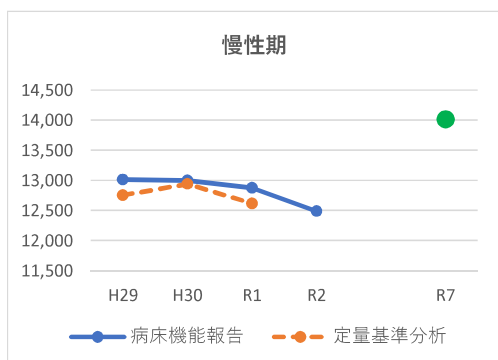
	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	3,515	3,504	3,280	3,229	2,770
定量基準分析	2,954	2,986	3,350	-	-



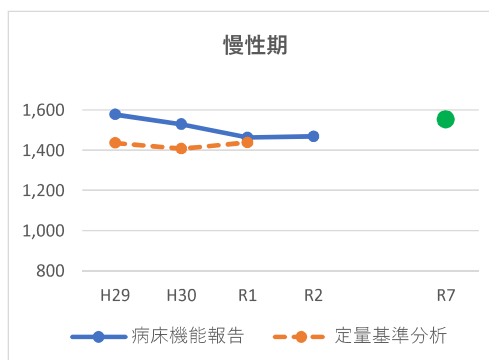
	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	4,830	5,336	5,739	6,155	16,717
定量基準分析	13,379	13,997	13,935	-	-



	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	382	529	624	718	2,301
定量基準分析	1,440	1,494	1,156	-	-



	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	13,013	12,998	12,874	12,489	14,011
定量基準分析	12,752	12,939	12,617	-	-



	H29	H30	R1	R2	R7
病床機能報告	1,578	1,529	1,463	1,469	1,554
定量基準分析	1,436	1,408	1,438	-	-

療養病床及び一般病床の基準病床数・既存病床数

・療養病床及び一般病床

二次保健医療圏	基準病床数 (平成 30～32 年度)
さいたま保健医療圏	7, 566

(参考)

既存病床数
7, 825

「埼玉県地域保健医療計画 平成 30～35 年度」より抜粋

(平成 29 年 3 月末現在)

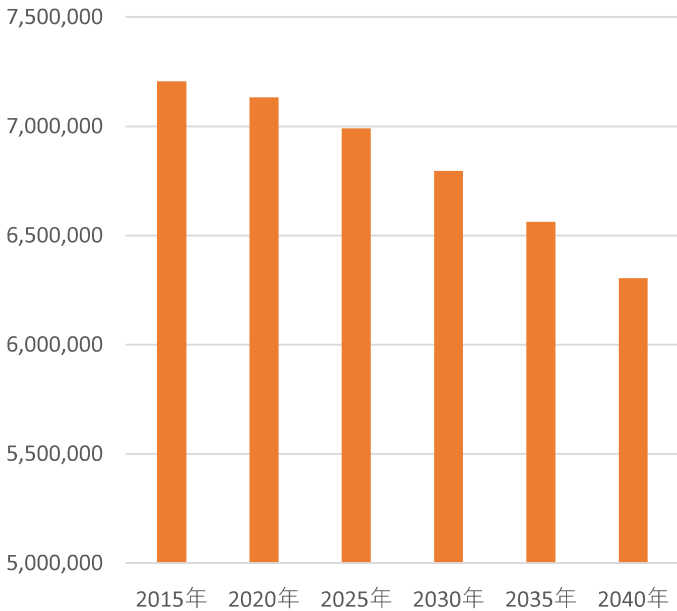
※さいたま保健医療圏 (=さいたま市域)

県・さいたま市の人口動態

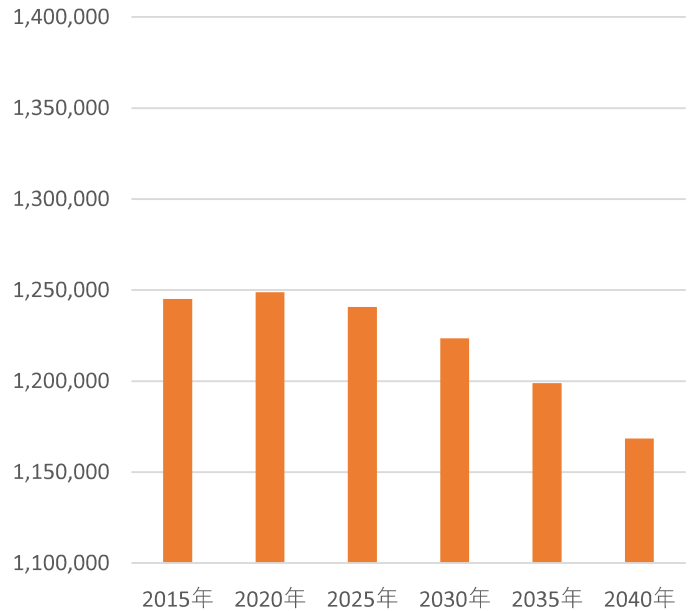
【地域医療構想策定時】

資料 5

埼玉県人口動態
(2013年推計)



さいたま市人口動態
(2013年推計)

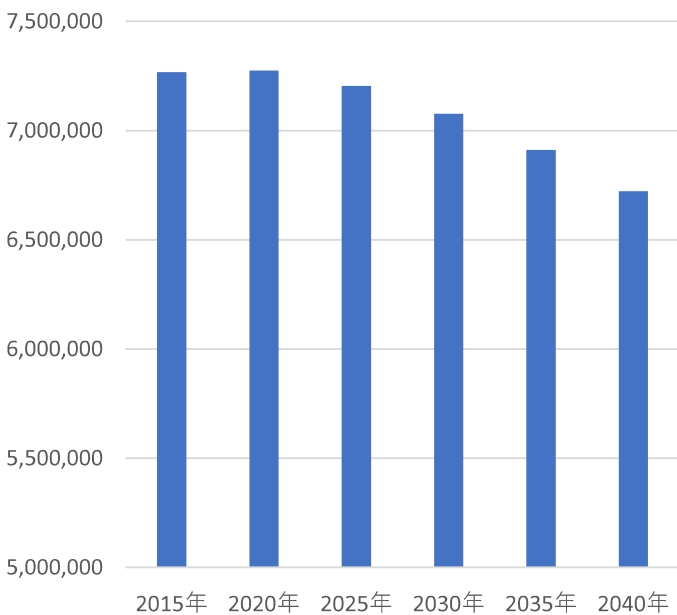


2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
7,206,014	7,132,876	6,991,046	6,795,904	6,562,019	6,304,607

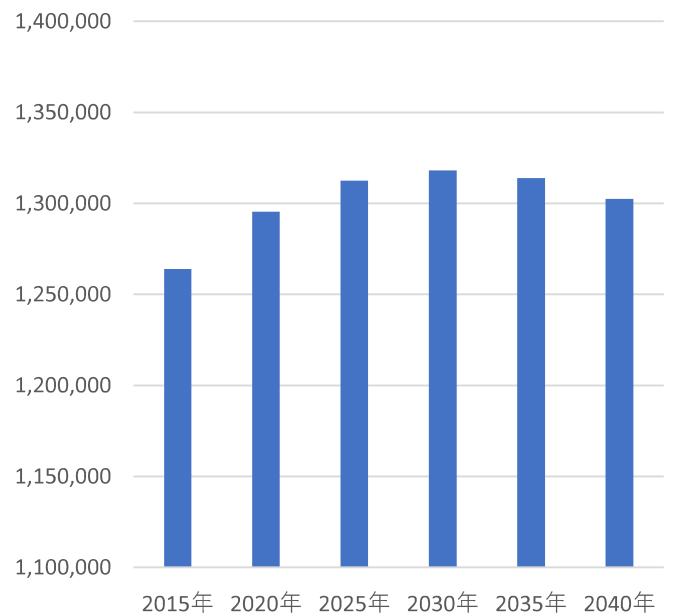
2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
1,245,165	1,248,818	1,240,702	1,223,414	1,198,798	1,168,491

【最新】

埼玉県人口動態
(2018年推計)



さいたま市人口動態
(2018年推計)



2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
7,266,534	7,272,830	7,202,953	7,076,167	6,909,319	6,721,414

2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
1,263,979	1,295,358	1,312,452	1,318,050	1,313,817	1,302,432

【さいたま保健医療圏】

【埼玉県の基本データ】 <2015年> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <出生数、死亡数>人口問題研究 第76巻 第1号 (2020年3月刊) 国立社会保障・人口問題研究所			
	2015年	2025年推計	2040年推計
人口総数	7,266,534人	7,202,953人	6,721,414人
人口増減率	2010→2015 1.0%	2015→2025 ▲0.9%	2025→2040 ▲6.7%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	913,657人(12.6%)	819,197人(11.4%)	723,391人(10.8%)
15～64歳	4,548,531人(62.6%)	4,350,217人(60.4%)	3,700,406人(55.0%)
65歳～ (うち75歳～)	1,804,346人(24.8%) (772,930人(10.6%))	2,033,539人(28.2%) (1,208,900人(16.8%))	2,297,617人(34.2%) (1,245,724人(18.5%))
出生数(前5年計)	(2010～2015年)290,381人	(2020～2025年)245,881人	(2035～2040年)225,543人
死亡数(前5年計)	(2010～2015年)300,404人	(2020～2025年)392,036人	(2035～2040年)477,188人
保健所			
市町村			

【圏域の基本データ】 <2015年> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <出生数、死亡数>人口問題研究 第76巻 第1号 (2020年3月刊) 国立社会保障・人口問題研究所			
	2015年	2025年推計	2040年推計
人口総数	1,263,979人	1,312,452人	1,302,432人
人口増減率	2010→2015 3.4%	2015→2025 3.8%	2025→2040 ▲0.8%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	165,298人(13.1%)	157,541人(12.0%)	147,737人(11.3%)
15～64歳	810,314人(64.1%)	817,073人(62.3%)	733,055人(56.3%)
65歳～ (うち75歳～)	288,367人(22.8%) (128,942人(10.2%))	337,838人(25.7%) (202,033人(15.4%))	421,640人(32.4%) (228,972人(17.6%))
出生数(前5年計)	(2010～2015年)54,086人	(2020～2025年)47,950人	(2035～2040年)46,488人
死亡数(前5年計)	(2010～2015年)46,964人	(2020～2025年)65,095人	(2035～2040年)83,380人
保健所	さいたま市保健所		
市町村	さいたま市		

地域医療提供体制の推進に係る課題

- 転院先をスムーズに確保するために、後方支援病院との連携の一層の推進が必要。
- 後方病院の充実として、回復期、慢性期の病床を整備し、地域の病院と連携強化することで、地域全体の医療提供が充実するため、そのようなネットワークの構築に向けた働きかけが必要。
- 今後、高齢化が進んでいくため、急性期から慢性期の病院だけではなく、在宅医療も含めたシームレスな医療提供体制の構築が必要であるため、多職種が協力して取り組む体制の構築が課題。
- 回復期、慢性期を担っている病院が、基幹病院を退院した患者をすぐに診られるよう、受け入れ能力を上げる必要がある。
- 今後、ますます地域包括ケアシステムが重要となるが、多職種協働の顔の見える関係を作る場としての協議の場が十分ではなく、保健医療計画と高齢者支援計画との連動性が十分ではない。
- 順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）の整備計画が延長され、当初の開院予定時期から遅れが生じている。

参考データ（在宅医療）

厚生労働省関東信越厚生局「施設基準届出受理機関名簿」

	2016年4月1日	2021年5月1日
【埼玉県】 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	751 (人口10万人当たり) (10.25)	869 (人口10万人当たり) (11.75)
【さいたま圏域】 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	196 (人口10万人当たり) (15.43)	233 (人口10万人当たり) (17.59)

2025年に向けて圏域が目指す姿

- 順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）の病院整備計画に基づき、新病院を整備する。
- 急速な高齢化の進展に伴い医療・介護需要の大幅な増加が見込まれるため、限りある医療資源を効率的に活用することで、必要な時に必要なサービスの提供を県民が受けられるよう医療提供体制の確保を進める。



令和 3年 12月 24日

(宛先)

埼玉県保健医療部長

住所 東京都文京区本郷 2-1-1

氏名 学校法人 順天堂

理事長 小川秀興

平成30年3月28日付で承認のあった病院の整備計画について、下記のとおり変更を申請します。

記

1. 変更前の事業計画

①整備スケジュール (現在、作成中)

②開設する施設の種類の種類

病院建物	延床面積 90,000㎡ (うち I 期53,000㎡)
立体駐車場	延床面積 12,300㎡
医系大学院教育・研究施設	延床面積 6,600㎡
医療系学部施設	延床面積 10,000㎡
教職員・学生用宿泊施設	延床面積 10,000㎡
陽子線治療施設	延床面積 5,000㎡

2. 変更後の事業計画

①整備スケジュール (別紙資料(1)のとおり)

②開設する施設の種類の種類

病院棟	延床面積 90,000㎡
大学・大学院棟 (教職員・学生用宿泊施設を含む)	延床面積 26,000㎡
陽子線治療施設(さいたま国際陽子線治療研究センター)	延床面積 5,000㎡
立体駐車場	延床面積 15,600㎡
ヘリポート関連施設	延床面積 (屋外)

3. 変更の理由

新病院の整備計画につきましては、平成30年（2018年）3月に整備計画変更申請書を提出させていただきご承認をいただきました。

その後、行政、関係機関により患者の交通アクセス改善に大きく影響する渋滞緩和の社会実験や自動運転バスの検証などが行われました。これに合わせ、路線バスの構内走行路、綾瀬川周辺の遊歩道設置に並行したオープンスペースなど建築設計の根幹にかかわる検討を行ってまいりました。

一方で、学内の医師を含めたプロジェクトチームを設置して医療機能について検討を行い、令和元年（2019年）10月には計画推進のため医療コンサルタントを選定し、基本構想の共同検討作業に着手いたしました。

さらに、さいたま市地域医療構想調整会議にオブザーバーとして参加させていただき、圏域の医療事情、医師会や拠点病院の構想をつぶさに知ることができました。この中から、看護師だけでなくリハビリテーションにかかる医療従事者の当地での育成の必要性を痛感したところです。

しかしながら、新興感染症（COVID-19）の出現により、厳しい経営環境となりました。計画通りの進展が困難となり遅れが生じました。また、医療を取り巻く環境が一変したことから、経営の立て直し及びコロナ後の新たな病院機能の検討など、計画を一から見直しをせざるを得ない状況になり、当初の進展より大幅な遅れが生じてしまいました。

一方で、行政、関係各位のご理解のもと時間をいただいたことにより、埼玉県全域に対する医療の貢献、将来にわたり国内、国外に誇ることができるような先進的な医療、優秀な医師の育成、治験や研究に寄与する本学の新たなキャンパスとして整備していく明確なビジョンとミッションを定めることができました。

更には、今回コロナで分かった感染症に対する医療体制の脆弱さを克服し、県民、市民に頼りにされる感染症に強い病院を整備するとともに、現在、順天堂大学が取り組んでいる様々な企業との先進的な共同研究の成果を浦和美園の新病院に取り入れ、順天堂の持つ人材、病院運営経験を最大限活用して、患者さんだけでなく行政の要求に応えられる医療体制の構築への確信を得ることが出来ました。

加えて、さいたま市を中心とした地域住民の生活に貢献すべく、医療連携はもとよりスポーツ健康医科学を進める本学の取り組みを美園の地で展開してまいります。特に、公募条件である医師派遣については、この病院とキャンパスが国内、国外の学生、研修医、専門医、研究者が集う魅力ある拠点として、順天堂の理念である不断前進の精神で取り組んで行く所存です。

4. 病院整備基本計画

(1) 病院の名称

順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）

(2) 開設者

学校法人順天堂

(3) 所在地

さいたま市緑区・岩槻区 3区画約7.3ha

(4) 開設計画の具体的内容

①開設病院の基本方針

- a. 未来型の基幹病院を建設します
- b. 次世代型スマートシティの医療・ヘルスケアに参画し、医療関連産業も周辺に集まる可能性を模索します
- c. 常時の感染対策はもとより、パンデミックに際しても地域の保健行政に即応可能な施設・設備を備えます
- d. 最先端の診断・治療技術を提供します
- e. 次世代ヘルスケアシステムを構築します
- f. AIホスピタルの実現に向けた高度診断・治療ネットワークシステムを構築します
- g. 全方位的な臨床医学とスポーツやリハビリを融合させた予防・社会医学拠点の形成インバウンド再開後の海外患者の受け入れと国際的な医療・教育・研究施設を目指します
- h. 環境問題を考慮した先進的な建築施設計画を立案し、国際的な外部評価でも検証を行います

以上の基本方針のもと、埼玉県での医療受給バランスの改善と医療従事者教育とを両立させるとともに、埼玉県、さいたま市と協力して地域医療に密着し東日本全体を俯瞰できる高機能な医療機関を目指します。

また、年齢に関係なく国内外の幅広い有能な人材が集まる大学院、研究施設を併設し、埼玉県で不足する医師の育成・派遣が可能となる施設・機能の充実を図っていきます

②開設病院における医療機能

地域住民・医療施設の要請に応えるべく以下の医療機能の整備に努めます。

a. 救命救急センター機能

脳卒中、心疾患、外傷などの救急患者の受入体制を整備し、迅速、適切に対応

するため救命救急センター機能の充実を図ります。

(救命救急センター病床20～25床)

b. 小児救急機能

小児救急拠点病院として夜間救急を含む小児救急患者に適切な対応をします

c. 周産期医療

高齢出産の増加や周辺産科病院の減少を踏まえ、周産期母子医療センターを整備し、周産期救急やハイリスク分娩などに適切に対応します。NICUやLDRの整備に努めます

d. がん対策

地域がん診療連携拠点病院として外科手術、化学療法、放射線治療等がんに対する集学的治療を提供するとともに、低侵襲治療に取り組みます。チーム医療も推進し、総合病院としてがん以外の合併症を持った患者に対する医療も対応します

放射線診断治療の機能の充実を図ります（さいたま国際陽子線治療研究センター）。最先端治療機器を使ったがんの高度先進治療の提供を検討します

e. 災害拠点病院としての機能

BCPに基づき免震構造による建物を建設し、自然エネルギーを活用した水・電気等のライフラインを確保するとともに、敷地内に医療関係者の宿舎を整備して災害時における要員の確保を図り、災害拠点病院として県民の安心・安全の確保に努めます。

f. 最先端診断・治療機能

AIを活用したデジタル診断技術、ロボット技術、再生医療（人工組織、人工臓器）、低侵襲治療、地域医療との連携を含めた次世代ヘルスケアシステム等、最先端の医療の導入を検討して、若い医師が集う病院を目指します。

g. 感染症対応機能

コロナに遭遇した経験を糧に、再び新興感染症に直面した時に迅速に対応できるハード・ソフトを備えたパンデミックレディの機能を持つ病院を目指します

h. スポーツと医学の融合知による新たな予防医学機能

前スポーツ庁長官鈴木大地教授が機構長となり新たに発足した「順天堂大学スポーツ健康医科学推進機構」がコアとなり、スポーツと医学の融合による健康寿命の延伸に向けたウェルネスな生活、予防医療を育む環境を整え埼玉県が掲げる「スポーツがつくる活力ある埼玉」と埼玉スタジアムを中心とした浦和美園地区のスポーツ振興に寄与します

また、スポーツ振興に伴う性差を超えた医学的見地が高まっており、主として女性に関わる種々課題をターゲットにして問題解決する拠点整備を進めている

きます。

i. 医療スタッフ養成支援機能

教育、研究、臨床研修、専門医や専門看護師の認定、総合医育成、検査技師の訓練、派遣先との調整、生涯を通じたスキルアップ、派遣医師の不安解消のための施設、設備機能の強化を図っていきます

j. オープンイノベーション機能

企業と連携して先進的な医療・医学研究が出来る研究施設を病院に併設して、浦和美園を中心とした産学連携拠点づくりを目指します

③病床数

一般病床800床

④診療科目（予定）

総合診療科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎・高血圧内科、膠原病・リウマチ内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、メンタルクリニック、脳神経内科、小児科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸科、放射線診断科、放射線治療科、産婦人科、救急科、麻酔科・ペインクリニック、リハビリテーション科、歯科口腔外科、その他

・センター及び拠点病院（予定）

救命救急センター	周産期母子医療センター
災害拠点病院	小児救急拠点病院
エイズ診療拠点病院	地域がん診療連携拠点病院
さいたま国際陽子線治療研究センター等	

⑤施設・・・開設する施設の概要（病院の外、附帯施設も含む。）

・病院棟

鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階/地上9階建
病床面積 90,000㎡
免震構造

・病棟構成

病棟、手術室15～20室程度（ハイブリッド手術室を含む）、ICU、NICU、GCU、無菌室、感染症隔離室 等

・大学・大学院棟	延床面積	26,000㎡
・陽子線治療施設(さいたま国際陽子線治療研究センター)	延床面積	5,000㎡
・立体駐車場	延床面積	15,600㎡
・工期(別紙資料(1)のとおり)		

⑥設備…整備する設備の名称、用途の概要

・整備予定の主な高額医療機器

PET-CT	1台	
サイクロトロン装置	1台	
MRI 1.5T	1台	
MRI 3T	2台	
ガンマカメラ	2台	
リニアック	2台	
RALS	1台	
サイバーナイフ	1台	
CT撮影装置(320列、64列)	4台	
血管造影撮影装置	3台	
手術支援ロボット「ダビンチ」	2台	等

⑦医療従事者等…人員計画の概要(医療従事者ごとの人数、医師の派遣計画)

・医療従事者数(予定)

医師	300名	
看護師	800名	
その他コメディカル	366名	
事務	117名	合計1,583名

⑧医師の派遣計画

埼玉県と協議を行い、積極的に県内医療機関への医師派遣を行います。

⑨その他の計画…大学院の設置計画など

a. 医系大学院の設置

- ・大学院医学研究科(埼玉キャンパス)の開設
入学定員60名(総定員240名)
- ・設置予定の主な研究センター
さいたま国際陽子線治療研究センター
遺伝子診断・治療開発研究センター

先端ゲノム研究センター
再生医療研究センター
災害医学研究センター 他

b. 医療系学部の設置

- ・看護師・保健師養成学科（入学定員160名（予定））
- ・リハビリテーション要員養成学科（入学定員120名（予定））

c. 教職員・学生用宿泊施設

教職員（看護師・研修医・医師等）、学生、海外留学生のための寮及び国内外からの研究者の宿泊のための施設

⑩土地利用（敷地利用計画）・・・敷地の概要

施設の配置状況（配置図などで明示）

別紙資料(2)を参照下さい。

⑪スケジュール・・・病床の使用開始までのスケジュール

工程表は別紙資料(1)の通りです。

整備スケジュール

基本計画（設計者選定含む）	～令和5年3月
基本設計	令和5年4月～令和6年6月
実施設計	令和6年7月～令和8年3月
建設工事	令和8年4月～令和10年12月
開院	令和11年4月（400床）
	令和12年3月（800床：フルオープン）

埼玉キャンパス(仮称) 事業スケジュール

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
□ 地域保健医療計画	第7次医療計画			第8次医療計画					第9次医療計画			
□ 基本構想・基本計画	調査計画書提出★											
□ 環境アセスメント			調査・準備 ※今後、行政関係機関と協議			3.0カ月						
□ 基本設計(病院、大学)			1.5カ月									
【施設】一宮キャンパス(仮称)建設(予定)	病院 実施設計、建設				2.1カ月		★着工(2025.4)		★竣工(2028.12)			
	開院準備				施設許可申請★		使用許検査★		★開院(400床、2029.4)★フルオープン(800床、2030.3)			
	ヘリポート・電子結核療養施設 実施設計、建設	基本計画を進める中で、申請手続きなど確定させて事業化させる										
【施設】大宮キャンパス(仮称)建設(予定)	大学・大学附設 実施設計、建設		文部科学省と協議しながら、開学時期を確定しながら事業化させる									

病院の整備計画変更申請書に係る質問について

○病床について

- ・県の計画によると、さいたま区域では高度急性期、急性期病床が過剰であり、今後回復期、慢性期への転換が必要とされている。このような現状を踏まえ、800床の高度急性期病院をこの区域に新たに開設する必要性をどのように考えていますか。

○医療機能について

- ・さいたま保健医療圏には、救命救急センターが3か所あり、周産期母子医療センターが4か所ある。このような現状を踏まえ、救命救急センター、周産期母子医療センターをこの医療圏に新たに開設することの必要性をどのように考えていますか。
- ・新型コロナウイルス感染症について、順天堂大学の患者対応実績をご教示ください。
- ・医師確保困難地域への医師派遣のための具体的方策の記載がないが、実施方法をご教示ください。

○人材について

- ・人員計画について、医師300名、看護師800名、その他コメディカル366名等の合計1,583名の医療従事者を集めるための具体的方策をご教示ください。
- ・高度急性期医療を提供する800床の病院において、看護師800名が適切な数なのでしょうか。

○スケジュールについて

- ・2030年の開院では、その間地域の医療需要に応えられない状況が継続することになるのではないかと懸念されています。
- ・当初の公募条件では、平成30年3月までの着工であったものが、今回の計画では2030年の開院となっており、整備スケジュールが大幅に遅れている。その理由について、新型コロナウイルス感染症以外の理由も含めてご教示ください。また、今後の整備に向けたスケジュールは、誰がどう管理する予定でしょうか。